

横浜港南ロータリークラブ



ロータリーは機会の扉を開く

ロータリーは機会の扉を開く

(2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ)



◎例会日/毎週水曜日 ◎例会場/京急百貨店 10F パンナトールーム「リバージェ」 045(848)1111
◎事務所/〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-13-23 アウザイト 41-302号 TEL045(846)5111 FAX045(846)5129
◎会長/平山 滋也 ◎副会長/豊場 健伍 ◎幹事/青柳 民朗 ◎会報委員長/坂巻 照代

第 2197 横浜港南ロータリークラブ週報
2020. 10. 21. [水] 第 2440 回例会報告

- ◎司会 天野SAA 委員
- ◎ロータリーソング なし
- ◎ソングリーダー なし
- ◎ゲスト ・慶応義塾高校OB 鶴岡伸彦様
・慶応義塾高校OB 武島眞炬様
- ◎出席報告 宮島(史)委員

会員数	出席者数	出席率	前回修正率	前月平均率
32(7)名	24(6)名	77.4%	88.0%	79.8%

()内は出席免除会員数

* 公式訪問

- 10月7日 セミナー 北見会員
- 13日 委員会 北見会員
- 19日 協議会 北見会員

◎ 会長報告

① 先週は体調不良の為に休みさせて頂き失礼しました。ヘルニアの後に湿疹が出来ていたのが化膿し、一日だけ熱が出ましたので、念のためお休み致しました。

② 高森会員から当クラブに多額の寄付を頂きましたので、当クラブの活動に充てたいと思います。

高森会員は地域に大変貢献された方なので、当クラブの名誉会員になって、体の調子の良い時など叱咤激励をして頂きたいと思います。既に理事の皆さんにはご賛同頂いております。その節には改めてお願いしたいと思います。

③ 当クラブにOB会はありませんので、今年度中に立ち上げたいと思います。理事会で検討し進めていきます。

◎ 高森会員よりご挨拶



私は横尾会員の推薦でロータリーに入会させて頂いてから41年経ちました。ロータリーの理念は素晴らしいものです。本当に私はこの理念を肝に銘じて、又、それぞれの公職は大変勉強になりました。第5グループは

会員の減少が続いていますが、皆さんの結束力で会員増強をして頂きたいと思ひます。体調も軽い脳梗塞の為、両足がしびれている状態ですが、私も微力ながら元会員として、会員の推薦をするよう努力していきたくと思ひます。クラブ会員の皆様、41年間本当にお世話になりました。心から御礼申し上げます。

◎ 幹事報告

① 第2回会長・幹事会の報告を致します。

- ・ 令和3年2月11日(木)『関内ホール』にてIMが行われます。
- ・ 卓話バンクがあまり活用されていないので、地区で活性化について検討するという事です。
- ・ 2019～20年度米山記念奨学寄付について、第5グループ11クラブの中で、当クラブは第3位でした。直近5年は2位、直近3年では1位です。今後も引き続きよろしくお願ひ致します。
- ・ 各クラブより例会の開催数の報告がありました。
月2回例会開催 3クラブ(当クラブ含む)
通常通り例会開催 8クラブ(食事なし含む)
例会や炉辺会合をズームで行う、例会にズームで参加した場合、規定を改定して出席扱いにするクラブもあるということでした。

◎ 委員会報告

① 親睦委員会

宮島(秀)委員

* 配偶者誕生日祝

高柳美玲様(1日)・宮下直子様(13日)

飯島久美子様(15日)

◎ 横尾会員から武島様のご紹介

学校を卒業して59年、友人がだんだん少なくなってきましたが、本日いらしている武島さんは小学5年から、鶴岡さんは高校からの友人です。鶴岡さんは学生として初めて高校野球部の監督になられた方です。鶴岡さんの紹介は武島さんからお願い致します。

◎ 武島様から鶴岡様のご紹介



横尾さんとは今のお話の通り小学校5年からのお付き合いで、横尾艇のクルーとして、毎週のように乗せてもらっている仲間です。鶴岡さんは慶応高校3年時の同級生で、彼は高校・大学と野球部でピッチャーでした。大学時代には慶応高校の監督をされていましたので、今日はお紹介させて頂きました。

◎ 『野球と仕事』

鶴岡伸彦様



今日は伝統ある横浜港南ロータリークラブで卓話をさせて頂くことを大変光栄に思っております。私もサラリーマン時代に仕事で福岡へ行っていた頃、四年程福岡ロータリークラブに在籍しておりました。そういった意味では皆さんの仲間だと思います。本日はどうぞよろしくお願ひ致します。

前半は私の野球歴の話をしてします。最初に私が現役で甲子園に行った時、そして、監督として甲子園へ行った時の話。後半は、日野自動車では私はロードマンをやっていました。仕事は野球と共通する事が多くありましたので、本日はそれらの話をさせて頂きたいと思ひます。

私は1937年に生まれ現在は83歳です。杉並区の大宮中学校で過ごし、慶応高校に入学後に野球が好きなので野球部に入りました。慶応高校の野球部は普通部や中等部など、下から来られる方が多く、レギュラー9人中7人は下から上がってきた方で、残り2人の私ともう1人は転入者のようでした。

この人たちに負けてはいけないと、体は小さいですが足腰を鍛える事が一番大事だろうと思い、特にピッチャーの場合は、針を通すようなコントロールがなければ、私のような体では持ちません。通学の電車の中ではつり革を指二本でつかんだり、かかとを付けなくて、常に膝の屈伸をやるなどのトレーニングをしながら高校に通いました。その甲斐あって、決勝で逆転勝ちし、甲子園に出場することが出来ました。その時の同級生が横尾さんと武島さんです。高校生にとって甲子園は夢の夢で、その時の感激は忘れられません。その時の試合で私は7回まで投げましたが、仙台二高に負けて、一回戦で敗退しました。その後、大学の野球部に入りましたが、来る日も来る日もバッティングピッチャーばかりやっていて、肘を壊しました。その当時の稲葉監督から、慶応高校は専門の監督がいないので、高校をみてやれと言われました。大学3~4年で2軍にいたような高校の先輩が順番で監督をしていた時代です。私は昭和36年に卒業しましたが、高校時代は現役で負けたので、その時のことが肥やしとなり、甲子園で勝てるチームを作りたいと思いました。幸いなことに、後に南海ホークスに行った、すごい投手の渡辺泰輔君がいたのです。今でいう江川や松坂のような投手でした。あとは1点取れば勝てると思い、打撃で点を取る為、足腰を鍛えるよう練習しました。神奈川県での秋の大会で優勝し、関東大会で優勝し、翌年の35年の選抜大会に出ることが出来ました。一回戦は鹿児島商業高校、二回戦は愛知の名門東邦高校でした。ベスト8まで来ると、新聞などで慶応高校は全国制覇するかと騒がれ、私自身も学生監督の第1号と言われていたので安心していました。当時、東北の高校は弱いイメージがあり、なめたわけではないのですが、結果的に秋田商業高校に負けました。

私が野球の中で一番思い出に残ったのは、巨人の

柴田君がいた当時の法政二高は非常に強く、4人くらいプロに行った方がいました。秋に勝って関東大会に行きましたが、春も勝ちました。結局、35年の夏の大会で法政二高とまた対戦し、延長11回、渡辺君が投げていたので勝つと思いましたが、9回裏、1アウト満塁で4番バッターに私がスクイズのサインを出しましたが見事に外されました。打たれて4対2で慶応が負けて、春夏の甲子園になりませんでした。その時、柴田君たちは甲子園で全国制覇しました。そんなことで私は野球で素晴らしい経験をさせて頂きました。

その後、私は会社に入っているいろいろなことに気が付きました。皆様ご存じのように、犠打とか送りバントなど、自分を犠牲にして選手を次の塁に進めるとか、バックアップとかエラーを最小限に抑えるコンバートなど、適材適所にサラリーマンなら飛ばされる等、最小限に失敗を抑えるという野球の中で当たり前のことが、社会人になっていろいろな場面でありました。

一つは、現場の監督が現場のことや選手のことを良く知っているということです。例として、ある後輩が言いました。『三遊間でゴロがあった。ヒット性の当たりだ。上手なショートはヒットなので跳びつかない。ところが上手でない人は一所懸命跳びつきます。取れないけれど、グローブの先端に当たり、ヒットになってしまうかもしれない。そうすると、記録上はグローブに当たったので、エラーになります。記録だけを机の上で見ている人は、エラーが多い選手だと思うはずですよ。跳びつかないであれはヒットだと言っている選手にはエラーが付きませんが、これはどのように思いますか？』このように後輩は言いました。現場をきちんと見るということは大切なのだ、このことで後輩に教えられた気がしました。

そして、もう一つ、情報の共有です。

私が日野自動車に入った時、販売担当でしたので工場の事はよく知りませんでした。日野自動車は大型トラッ

クやバスを取り扱っているのです、ラインは一日に20～30台動いています。昭和43年くらいにトヨタと業務提携してから、工場のラインで欠品部品が出た場合、今までの日野なら、朝までかかっても何とか部品を調達して間に合わせるというものでした。ところが、トヨタが来てからは、欠品部品があったらラインを全部止めてしまうのです。ラインを止めるのは大変な費用が掛かります。部品がないからと言って、そこまでやらなくても良いのではないかと。トヨタの人は小型車の事はわかって、大型車の事はわかっていないのではないかと、ということがあったそうです。私はそれを聞いて、失敗の情報や成功の情報を共有する事は、企業として、チームとして、強くなるのだと思います。例えば、送りバントを失敗した時、どのような姿勢で送りバントをやったのか。目線が合っていなかったとか、何故失敗したのかなど、その人を怒るより、チームとして力を上げていくには、チーム皆のパワーが上がらないとだめなのです。ピッチャー・キャッチャー・バッターそれぞれのポジション、職場でも全く同じだと思いますが、各部門や支店長など皆のパワーが付けばその企業は強くなります。

私は野球以外に取柄はありませんが、いろいろなことを勉強させてもらいました。野球が100年以上続いているのも、いろいろな要素が含まれていたことが、野球が続いている一つの要因だと自分なりに思っています。

そろそろ時間となりましたのでこれで私の話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

◎ ニコニコボックス 宮島(秀)委員
平山会長

慶応義塾高校野球部OB鶴岡伸彦様ようこそいらっしゃいました。
高森様ようこそいらっしゃいました。

青柳幹事

慶応義塾高校野球部OB鶴岡伸彦様ようこそいらっしゃいました。本日の卓話楽しみにしております。

高森会員

この度6月の退会届が10月7日に受理されました。本日41年間多くの歴代のロータリアンの皆様のご指導を頂き誠にありがとうございました。
会員誕生日祝と配偶者誕生日祝を頂きまして有難うございました。

飯島会員

配偶者誕生日祝を頂きまして有難うございました。

横尾会員

卓話当日友人をお招き出来て喜んでます。

市川会員

塾高野球部OBの鶴岡伸彦様ようこそ。卓話楽しみにしております。私も塾高7期卒業生でした。(クラブ活動をする余裕がありませんでしたが…)

豊場会員

塾高大先輩の鶴岡伸彦様ようこそいらっしゃいました。弟様とは高校の同期生でした。

小後摩会員 坂巻会員 天野会員 橋浦会員

上杉会員

本日は慶応義塾高校野球部OBの鶴岡伸彦様の卓話を楽しみにしております。

海野会員

鶴岡伸彦様の卓話を楽しみにしております。
一気に寒さが強くなってきました。
高森様ようこそ。お元気で安心しました。

ニコニコボックス本日合計	24,000円
ニコニコボックス累計	278,000円

◎米山チャリティボックス 坂巻米山奨学委員
坂巻会員 根本会員 橋浦会員 3名

米山チャリティボックス本日合計	3,000円
米山チャリティボックス累計	51,000円

◎ 11月の予定

11月 4日(水) 地区米山奨学増進委員会 石山様
11日(水) 休会
18日(水) 地区R財団ポリオ委員会 新川様
25日(水) 休会

◎ 会報

國光会報委員